

SAKURA CORPORATION

<http://www.sakuracorporation.com>



株式会社 **さくら** コーポレーション

本社: 〒610-0342 京都府京田辺市松井宮田26-1 TEL: 0774-65-4468 FAX: 0774-65-4063
関東営業所: 〒344-0026 埼玉県春日部市武里中野285-4 TEL: 048-737-0171 FAX: 048-737-0181

※ カタログと実際の製品の色とは、印刷の都合上、多少異なる場合があります。 ※ 仕様、価格、デザイン等につきましては品質改良のため予告なく変更する場合があります。



reddot design award
winner



Creative Event Equipment

取扱説明書

X-GLOO イベントテントの紹介

INTRODUCTION

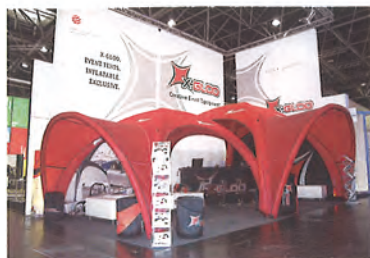
エアフレームテント X-GLOO は、ドイツの高性能パラグライダープロダクションのスカイワーク社が開発しました。

空気を入れるだけなので一人でも簡単に設置ができ、コンパクトで軽量のパッケージはバックパックで持ち運ぶことができます。

保管場所から設置会場までの運搬は宅配便で OK! ランニングコストにも大きく貢献します。

4 サイズをラインナップするテントは、異なるサイズ同士でも連結ができるので、シーンやエリアに応じて自由にスペース確保。

豊富なカラーと多彩なグラフィックを実現する X-GLOO はテント機能はもちろん、ブランディングやランドマークとして活用できます。



付属品

STANDARD DELIVERY



付属品

- マルチファンクション・トランスポートバック
- ダブルアクションハンドポンプ
- サイドウォールバック
- ラインセット
- ハンドブック
- サポートバー (5×5, 6×6 のみ)
- リペアキット (交換用インナーチューブ/交換用プロテクションストリップ/交換用オーバープレッシャーバルブ [赤]/ハイパフォーマンスリペアテープ [クリーニングクロス入り])

電動ポンプ (オプション)

- AC120V

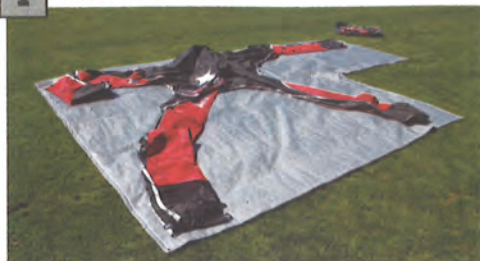


2way 充電式ポンプ (オプション)

- チューブ
 - AC アダプター
 - DC アダプター (車用)
- ※12時間以上充電してからお使いください



1 設置場所の確認



収納バッグより取り出して、ルーフ部分を上向きにして、X-GLOO を設置場所に置きます。
テントの汚れを防ぐため、シートを使用することをおすすめします。

※アスファルトなどの作業は、テント生地を傷つけないように取り扱ってください。

2 バルブの確認



①バルブ全解放の状態



②空気を入れる状態



オーバープレッシャーバルブ (OP バルブ)

OPバルブは気温の変化での空気の膨張やポンプで空気を入れすぎた際に自動的に空気が抜けます。通常はテント上部のバルブが OP バルブになります。

3 空気を入れる-1



バルブが②の状態になっていることを確認ください。
OP バルブや②のベースバルブはしっかりと閉めてください。充電式電動ポンプを使用する場合は 12 時間以上充電しておいてください (ポンプの取扱説明書を参照)。
空気は対角線状に入れていくことをおすすめします。



4 空気を入れる-2



最後のチューブ (4 本目) に空気が半分くらい入ってきたら、ルーフ部分を下から支えてください。



最後はバルブをしっかりと閉めてください。

5 横幕の取付



両脇下部から横幕をファスナーで取り付けファスナーを上げて閉じます。

6 テンションをかける



横幕を安全ストラップで互いに固定し、テンションをかけます。
チューブ [柱] を外方向に引っ張るようにしてテンションをかけます。

7 テントの固定



ウォーターバラスト



バグ



テントバグ



ウォーターバラストバレル

必ずしも、左記の固定具で十分とは限りませんが、必要に応じた固定具をお使いください。

テントの固定

ANCHORING

テントペグを使用した固定方法

固定基本セット

アンカリング用ひも（8×8m サイズには幅の広い布テープ付）、
ラインテンショナー、ペグ抜き（8×8m サイズのみ）

■4×4m、5×5m、6×6m テント用のテントペグセット

ペグの種類	数量	使用箇所
230mm スチール製ペグ	20 本	横幕
300mm 三角形ペグ	10 本	チューブ内側と アンカリング・ライン
400mm スパイラルペグ	4 本	チューブ外側

■テントペグセット 1：4×4m サイズ

ペグの種類	数量	使用箇所
300mm	24 本	チューブ内側、 アンカリング・ライン、横幕

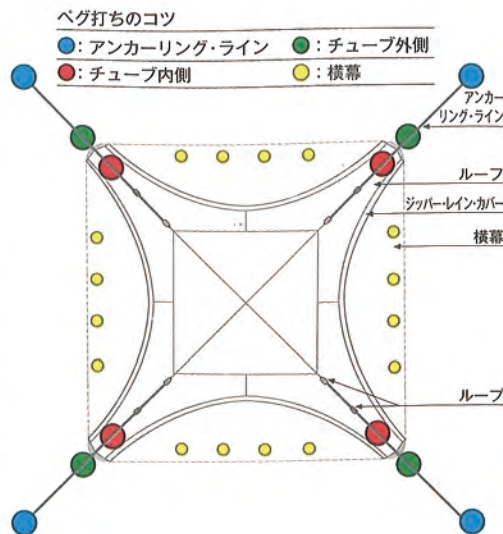
■テントペグセット 2：5×5m サイズ、6×6m サイズ

ペグの種類	数量	使用箇所
300mm	20 本	横幕、チューブ内側もしくは アンカリング・ライン
500mm	8 本	チューブ外側、チューブ内側もしくは アンカリング・ライン

■テントペグセット 3：8×8m サイズ

ペグの種類	数量	使用箇所
300mm	16 本	横幕
500mm (直径 14mm)	4 本	アンカー用ひも、横幕
500mm (直径 19mm)	8 本	チューブ内側、アンカー用ひも
800mm	4 本	チューブ外側

※ペグ・ロープは必要な数量をホームセンター等でお買い求めください。



■ウエイトを使用する時の目安（チューブ 1 本当り必要な重量）

風速 サイズ	30km/h	40km/h	60km/h
4 × 4	20kg	20kg	80kg
5 × 5	40kg	40kg	80kg
6 × 6	40kg	80kg	160kg
8 × 8	80kg	160kg	240kg

X-GLOO を安定的に固定させるには、柱が滑らないようにすることが大切です。
弊社ではさまざまな固定アイテムをご用意しております。

【注意】■必ずしも、ご使用の条件に十分な対策がとれるとは限らないこと
をご了承ください。

■固定に最適な条件は、すべての横幕のファスナーを閉じて（可能な
らば）、チューブについてのストラップで横幕をピンと張ることです。

ウォーターバラストを使って固定する

ウォーターバラストには大と小の 2 種類があります（1 セット
8 個：大 4 個、小 4 個）。

大はチューブの外側に、小はチューブの内側に取り付けます。
バラストの中には水を入れるための内袋を入れて使用します。

使用方法

- ①ホースを蛇口に正しく取り付けます（写真 1 参照）
- ②バラストのカバーを開けて、水を入れるための内袋を取り出し、
水を注入するバルブを引き出します。（写真 2 参照）
- ③バルブを開けて、ホースから水を十分に注入したらバルブをし
っかりと閉じます。内袋をバラスト内に戻します。
- ④水を入れたバラストをチューブ下部についているジョイントパ
ーツに取り付けます。（写真 3 参照）

小さいウォーターバラストはチューブの内側に、大きい方のウ
ォーターバラストはチューブの外側に取り付けます。バラスト
の裏／表は、表面に皮加工が施してあるほうが下になります。

- ⑤テント下部にあるストラップを引き、ウォーターバラストとチ
ューブをしっかりと固定することで、風によるテントの舞い上
がりを防止してくれます。



キャノピー、トンネルパーツの取り付け方

CANOPY, TUNNEL
PARTS

キャノピー

キャノピーは横幕を取り付けるファスナーに取り付けます。

- ① アーチ部分をファスナーで取り付けます。
- ② アーチ 2ヶ所、センターチューブ 1ヶ所、計 3ヶ所のバルブをしっかり締めます。
- ③ センターチューブにエアーを入れ、本体のチューブ天面部分のベルクロに圧着します。
- ④ アーチチューブにエアーを入れ、完成です。



キャノピー X-GLOO2 タイプ



- ① 4本のポールをジョイントし、2本のポールにします。
- ② キャノピー本体 2ヶ所にあるトンネルにポールを通して固定します。
- ③ ベルクロでしっかりフタを取付け、エアーを入れて完成です。
- ④ アーチ部分をファスナーで取付け、エアーを入れて完成です。

※ 風が強いときはキャノピーの使用はお控えください。

トンネルパーツ

トンネルパーツも横幕を取り付けるファスナーに取り付けます。

- ① 連結したいテント同士をセンターで合わせてレイアウトします。
- ② 横幕同様にファスナーでパーツを取り付け、テント同士を連結します。



リペアとクリーニング

REPAIR, CLEANING

リペア

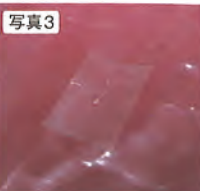
インナーチューブの修繕方法

付属品のリペアパッチ (約 70 x 50mm) を使用して、穴をふさぎます。このパッチは伸縮性への耐性があり、インナーチューブの破れや穴あきの修繕に適しています。

- ・高い粘着力で空気漏れの再発を防止します
- ・UV 耐性
- ・必要な形への切り取りが簡単
- ・水分や砂、塩分、風や高温への耐性



リペアパッチ



【注意】リペアパッチは均等に力強く押し当ててください。

交換方法

- ① 付属品のクリーニングクロスで、汚れや油分を取り除きます。(写真1参照)
- ② リペアパッチを必要な形に切り出して、裏紙を剥がします。その際に粘着面に手を触れないように注意してください。(写真2参照)
- ③ リペアパッチを補修面に貼りに、よく圧着してください。リペアパッチは、補修箇所よりも 50mm ほど余分に重複していることが望ましいです。(写真3参照)
- ④ 乾くまで数分そのまま放置してください。

※ インナーチューブの交換方法については、次ページ以降を参照ください

クリーニング

泥や汚れは、可能であれば、石けんや水を使用せずに取り除いてください。当社では、軟らかく乾いたブラシやマイクロファイバーの布を使用することをお薦めしています。もし、汚れがブラシなどで取り除けない場合は、少量の石けんを多めのお湯に溶いて、試してみてください。

● 弊社では、メンテナンスも承っております。エア漏れの検品からクリーニング、修繕など、ご相談ください。

【注意】 溶剤、合成洗剤、スチームクリーナーやガソリンによるクリーニングは生地を傷める原因となりますので、使用しないでください。

デジタルプリントを施した部分についてのクリーニング

デジタルプリントが施された部分は、石けんや水を使用せずに洗浄してください！印刷面のダメージにつながります。そのようなことを行って、ダメージが生じた場合、当社では責任を負いかねますので、ご了承ください。



解体するには、まず横幕やキャノピーなど全てのパーツをはずします。



次にバルブを解放します。数分で空気が完全に抜けます。テント内で作業をするとテントが落ちてきます。バルブ解放は必ず、テントの外側より行ってください。



ルーフ部分のチューブ4本が連結されている部分が見えるようにします。この際ルーフ幕はチューブの下になります。



4本のチューブを一つずつ重ね、バルブが上向きになるようにします。ルーフ幕部分は大きく畳んだ状態で外側に引き出します。



チューブの空気が抜けるのを待って、チューブを丁寧に重ねながら、全体を脚部分に向けて巻いていきます。



上：横幕、キャノピー用
収納袋
右：テント収納リュック

これでX-GLOOをX-GLOO専用リュックに収納可能です。側壁は別途、保護バッグに収納できます。

注意

- テントは乾燥させてから保管してください。
- 濡れたまま長期保管しますとカビの発生や破損につながります。
- 畳んだテントに物をのせたりテントを踏んだりしないでください。破損につながります。
- 設営・撤収の際にはブルーシート等を下に引くことをお勧めします。(汚れも防げます)
- 汚れを落とす場合は、暖かい水で硬く絞った布でふき取り、よく乾燥してから保管してください。スチームクリーニング等はおやめください。
- 専用リュックに収納後は、乾燥した場所で保管ください。



インナーチューブ 交換方法 1

INNER TUBE REPLACEMENT

破損チューブの
取り出し方



チューブをのばして広げてください。



チューブの下ベルクロを解放してください。



チューブ下部にあるファスナーを開けてください。



内部からブルーの袋状のカバーを取り出してください。



3本のベルクロを解放してください。



巻き込みのベルクロを解放してください。



横のベルクロも解放してください。



完全に全てのベルクロを解放してください。



インナーチューブを固定している3点ベルクロも解放してください。



テント上部でも手順2から繰り返してください。



バルブ押し込みを取り外し、バルブリングも取り外してください。



バルブを中に押し、バルブ周囲にあるベルクロから取ってください



インナーチューブを引っ張り出してください

新しいチューブの
挿入方法



交換用のインナーチューブを横に並べてください。バルブの位置を確認してください。



テント上部から入れられるようにインターチューブを用意してください。



テント下部から腕を入れて、テント上部に向けて腕を通して行ってください。



テント上部まで腕を通したら、交換用チューブをつかんでください。



注意深く交換用のチューブを引っ張ってください。その際にチューブが内部でねじれないようにし、可能であればもう一人の人にサポートしてもらってください。



両端に同じ長さのチューブが出るように伸ばしてください。



交換用のチューブバルブを探して穴から出してください。ベルクロにしっかりと留めてください。



バルブの向きを確認のうえバルブリングを取り付けてください。赤い圧力バルブはテント最上部です。X-GLOO2はチューブバルブの横にあります。

インナーチューブ 交換方法 3

INNER TUBE REPLACEMENT



交換用チューブの穴を使いベルクロを取り付けてください



ベルクロに沿って、ベルクロを圧着しながらロールアップしてください。



ベルクロが圧着されていることを確認しながら丸めていってください。



サイドに付いているループにベルクロを通し、折りたたむように圧着してください。



3本の長いベルクロも圧着してください。



青い部分の袋部を全て中にしまってください。



内側のベルクロを外側に引っ張り出してください。その際にしっかりとベルクロを引き出して外側のベルクロに圧着してください。



ファスナーを閉めたら反対側も同じ手順で行ってください。



設営に関する注意事項

- テントにエアーを入れる際は、オーバープレッシャーバルブを含め、ベースバルブが閉まっていることをご確認ください。
- キャノピー・横幕・トンネルパーツは本体を立ち上げてから取りつけてください。
- 撤収の際はキャノピー・横幕・トンネルパーツを取り外してから本体を撤収してください。
- X-GLOO テントは恒久的に設置するのには向きません。
- X-GLOO テントは風速 60km/h (約 16m/秒) 以上の時には使用しないでください。
テントの固定方法によっては、それ以下の風速でも保証できるものではありません。
- 電動のプロワーを使用する際は、小石等が吸い込まれないようにご注意ください。チューブの破損につながります。
- テントを設営・撤収する際に、硬い物や重い物をテント生地の上に置いたり、人が踏んだりしないようにお気を付けください。
インナーチューブの破損につながります。
- ナイフや工具等の鋭利なものをチューブにさしますと破損につながります。
チューブの取り扱いにはくれぐれもお気を付けください。
- チューブに破損がみられる際には、中のチューブを取りだし、補修テープで補修するか、傷が見つからない、または傷が大きすぎる場合は新しいチューブと交換してください。
- テントを設営したら、軟らかい地面にはベグやロープで地面に確実に固定してください。
- アスファルトやコンクリートの上では、ウォーターバラストや重石などで風への対策を行ってください。
- 風の強さによってはオプションのウォーターバラストでは足りませんので、必要に応じて重りを追加してください。
- テントを設営する場所によってはベグが使用できない場合があります。
あらかじめ設置場所の地面の状態を確認しておいてください。
- テント設営の際は、できるだけ平らな場所を選んでください。また風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- 横幕を閉じた状態で、風上側の横幕だけを開けるなど、風の影響を受けやすい行動はおやめください。
- テント内での火気の使用は一酸化中毒、火災の恐れがありますので、お気を付けください。
- 風が強い時はテントの設営はお控えください。本体が飛ばされて事故の原因となります。
- 台風、暴風雨、落雷等の異常気象の際は危険ですのでテントの使用はお避けください。
- テントを設営する際には周囲に十分スペースのあるところで行ってください。
- キャノピーを取り付けると風の影響を受けやすくなるので、強風の際にはキャノピーを取り外すことをお勧めします。
- 上記の内容を踏まえ、風の状況に応じてロープで固定するなど、自然状況で飛ばされたりしないようにする工夫は各自行ってください。

※ 結露について テントの生地には防水加工が施されていますので、外気との温度差が大きいと、生地の内側の壁面に水滴が付くことがあります。
これは水濡れではありません。テント内の換気を行うことで改善することができます。

防火証明取得済
DIN 4102B1 難燃性建材、主にヨーロッパ諸国で認可されているクラス。
CPAI84-95 Section6 アメリカのセイルクロス材料の難燃性イベントテント素材の区分

収納・管理に関しての注意事項

- 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。
濡れたままの状態での収納しますと、色移りやカビの発生の原因となります。
- 撤収時、雨などで本体を乾かせない場合は、持ち帰った後でできるだけ早く乾燥させてください。
そのまま放置しますと色移りやカビの発生の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、暖かい水で硬く絞った布でふき取り、よく乾燥してから保管してください。
スチームクリーニング等はおやめ下さい。
- 再撥水はできません。
- テント生地は紫外線の影響を受けます。自然環境で何度も使用すると、色あせ等は防ぐことができません。ご了承ください。
- シンナー・ベンジンなどの有機溶剤の使用は色落ち、変色及びプリントの剥がれの原因になります。
- 本体・収納ケースは洗濯しないでください。
- 幼児・子供の手の届かないところに保管してください。

故障 (エアーもれ) かな? と思ったら

- ①オーバープレッシャーバルブ (赤バルブ)、ベースバルブ (黒バルブ) が、しっかりと締まっているか確認してください。
素手で回せなくなるまで、しっかりと締め付けてください。
- ②気温が高温から低温になる時間帯ではないですか?
日中の高温時には空気は膨張し、オーバープレッシャーバルブより安全の為に空気が少量抜けています。
夕方や早朝の低温時に、日中抜けた空気容量が不足しています。
ハンドポンプで数十回ほど注入して、様子を見てください。
- ③チューブに外傷がないか、点検してください。
わずかな外傷でも、インナーチューブの傷はエアーもれの原因となります。
外傷を見つけたら、耳や手をあてて、エアー漏音がしないか、確認してください。
インナーチューブのダメージは、付属のリペアパッチによるリペアか、チューブ交換で現状復帰を試みてください。